

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回文化財審議会
開催日時	平成30年7月4日(水) 15時00分~17時00分
開催場所	水子貝塚資料館 講座室
出席者	吉川節男委員、佐々木真理子委員、大久保善郎委員、川勝義彦委員、 塩入たま江委員、杜多堯慶委員、松本伸行委員 事務局 (鳥海課長、堀主査)
欠席者	
会議次第	1. 議案事項 (1)平成30年度文化財審議会検討事項について (2)文化財保存事業費補助金の交付について 2. 報告事項 (1)平成29年度文化財保護事業について (2)平成30年度文化財保護事業について (3)その他 3. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開 (傍聴人 0人)
会議録確認	吉川委員

会議内容

あいさつ（議長、副課長）

1. 議案事項

(1)平成 30 年度文化財審議会検討事項について

事務局：昨年度の検討課題である文化財保護の推進をさらに図っていくために、現状で不足している点、これから行っていくべき点、あるいは現状の評価も含め意見を伺った。そこで出た意見をまとめたので、内容を確認し、訂正すべき点や追加すべき点について意見を伺いたい。

委員：はじめにの文章中に歴史文化基本構想についての記述があるが、それ以降の意見との結びつきがわかりづらい。

事務局：歴史文化基本構想は文化庁が提唱したもので、今後、目指していく方向性という意味でいれている。関連性がわかりづらい場合は削除も考えて、訂正する。

委員：わかりやすい記述にしてもらえば良い。

委員：文化資源の中には食に関する文化は入らないのか。

事務局：世界文化遺産には和食も指定されている。文化資源としていれても良いと思う。

委員：地域には昔ながらの料理として、食してきたものが伝わっている。例えば川島町の呉汁などが良い例で、富士見市でも昔は呉汁を食べていた。

委員：4月10日の榛名神社の祭礼には、近所の人は草餅を作っていた。

委員：子どもたちも食には興味を持っているので、食文化と文化資源としてPRに使うのは有効だと思う。

委員：文化資源の活用の項目の中の情報発信で食文化も含めた文化財の発信としていれれば良いと思う。

委員：文化財は人の生活の中に関連してくるものなので、「生活感」という文言を入れてほしい。

事務局：では、今回出していたいただいた意見を入れて、まとめる。次回、再度確認してもらいたい。また、訂正・追加すべき点が出てくれば連絡していただければ修正していきたい。

事務局：次に、今年の5月末に水宮神社に150年ぶりに志木市から般若院に関連する多くの資料が戻ってきている。どんなものがあるのかも含めて、今年度、文化財審議会でも見ていただく機会を設けるので、調査してもらいたい。

委員：どんなものがあるのか。

事務局：主なものとしては、「不動明王坐像」「役行者坐像」があり、5月末の帰仏奉告祭の折に拝見したが、立派なものだった。その他にも独鈷所などの修験道に関連する道具が多数あるとうかがっている。

委員：では、時期を見計らって機会を設定してもらいたい。

事務局：次に、文化財保存事業費補助金の交付についてですが、例年、市指定文化財の獅子舞やお囃子を保存・継承する文化財保存団体連絡協議会に対して補助金を交付しており、今年度も申請が提出されている。補助金の交付にあたっては、文化財審議会の意見を伺うことが条例で決められているので、ご意見を伺いたい。

委員：獅子舞・お囃子の現状はどうか。

事務局：どこも、人が減り、継承という点では後継者が少なく苦慮している。南畑八幡神社獅子舞保存会もいまだ踊り手の育成は進んでいない状況とうかがっている。

委員：何かきっかけがあれば進展すると思う。一度、途絶えてしまえば、再度の復活は難しいので、引き続き、援助していただきたい。

2. 報告事項

(1)平成 29 年度文化財保護事業について

— 事務局より報告 —

(2)平成 30 年度文化財保護事業について

— 事務局より報告 —

